

# 伊是名村 勢理客区

集落  
部門

## 地域一体で伝統文化を継承するふるさとづくり (平成24年度認定)



沖縄本島の北西部に位置している伊是名島の中で、勢理客区は島の西部に位置する集落で国営かんがい排水事業の関連地区でもあり、その他の各種補助事業が導入されている。その中で、さとうきび、たまねぎ、かぼちゃ、水稻の生産が盛んな農村地域である。

勢理客区には、数々の伝統文化が残されている。農業の神として中国大陸から伝わったといわれている土帝君が祀られている場所があり、フトウキアタイ（司祭者）として任命を受けた住民が土帝君周辺の清掃活動やお供え物をしている。毎年旧暦2月2日には土帝君祭を行い、17種ほどの品を添え住民達が参列する。

毎年旧暦6月15日には、ウンナーという豊年祭があり、東西に分かれ道ジュネーをし、主に稲作農家の家で、あるいは祝い事があった家で五穀豊穡を祝いながら乱舞した後、公民館前に戻りガーエーという掛け合いが東西で行われ、男達が担いだ板木に青年が2人ペアで乗り込み、落とし合いをする。これはスナイといわれ、一番の盛り上がりを見せる。その後に綱引きも行われ、さらにその綱で円をつくり、沖縄相撲や毛遊びが行われる。

また、8月豊年祭では、伊是名・伊平屋にしか遺っていないと言われているティルクグチという豊作を祈願する催しやイルチャヨー踊りなどを行う。イルチャヨーは、琉球王朝時代、進貢船の船員は伊是名出身者が多く、船員たちの航海安全を祈願したのが始まりと言われている。その他にも、集落入口の荒地を「勢理客人の森」として整備し、樹木や花を植え付ける花いっぱい活動を行い、住民の憩いの場としている。

このような地域活動を通じて、勢理客区は【地域一体で伝統文化を継承するふるさとづくり】に取り組んでいる。



土帝君祭



ウンナー（稲作農家の家で乱舞）



ウンナー（スナイ）



8月豊年祭（イルチャヨー）



「勢理客人の森」・花いっぱい活動



「勢理客人の森」・花いっぱい活動